

ボランティアに行く前に・・・

★ 活動の手順 ★

- ① 受付・保険加入
↓
- ② オリエンテーション(作業の割り当て)
↓
- ③ 資材準備
↓
- ④ ボランティアセンター出発
↓
- ⑤ 現地到着

現地に着いたら・・・

- * 「八戸市災害ボランティアセンターから来ました」と伝えてください。
- * 作業内容を依頼者に再確認してください。

↓

⑥ 作業

作業中には・・・

- * 休憩をとり、こまめに水分補給をしましょう。
- * 安全には十分に注意してください。
- * 危険な作業やできないことは断ってください。(後でセンターに報告)
- * 捨てる前に依頼者に確認しましょう。
- * 怪我をしたらボランティアセンターに連絡してください。
- * 判断に困ったらボランティアセンターに連絡してください。

八戸市災害ボランティアセンター：TEL 0178-47-2940

↓

⑦ 作業終了

終了したら(時間が来たら)・・・

- * 作業は、16 時までにボランティアセンターに帰ることができる時間に終わります。
(やり残した仕事があれば、報告書に理由を添えて記録する)
- * 作業終了を依頼者に確認してもらいます。
- * 活動の継続希望を依頼者に確認します。希望があったらセンターに報告します。
- * 持っていった資機材を忘れずに持ち帰ってください。

↓

⑧ ボランティアセンター帰着

センターに帰ったら・・・

- * センターに入る前に、長靴の泥を落とし、手洗い・うがいをします。
- * 持っていった資機材を返してください。
- * 報告書を書いて、提出します。

お疲れ様でした！ 気を付けて帰りましょう。

※途中で帰宅の必要が出た場合などは、必ずボランティアセンターに連絡してください。

八戸市災害ボランティアセンター：TEL 0178-47-2940

◆ ボランティアの皆様へ ◆

災害ボランティアに参加いただき、ありがとうございます。被災地へ入り活動する上で、大切な心構えがいくつかあります。ボランティアとして、適切な動きが出来るよう心掛けてください。

「自分のことは自分で」

病気や食べ物、住居に困っているのは被災者です。健康管理は言うまでもなく、食事や宿泊場所の確保、帰省時の交通費、貴重品の管理など、自分のことは自分で責任を持って行いましょう。

「被災者の立場に立った活動をする」

混乱している被災者の心を、かき乱すような態度は好ましくありません。挨拶や言葉遣いなど、基本的なことを大切にしましょう。ボランティアは被災者に「やってあげる」のではなく、「お手伝いさせていただく」くらいの気持ちで活動しましょう。

「自分で考えて行動しよう」

誰かの指示を待っているのではなく、自主性・主体性を持って、行動しましょう。周囲の様子をよく見て、今、自分が出来ることをやってみましょう。

「集団行動のルールを守る」

災害ボランティア活動はグループでの活動です。勝手な判断をするのはやめ、問題が起きたらグループで相談し解決するか、それでもだめな場合は、センターに相談しましょう。

「断る勇気を持つ」

気持ちが先走り、出来ないことまで安請け合いするのはやめましょう。危険な作業や出来ないことを断る勇気も必要です。後で、センターに報告しましょう。

「思い込みをなくす」

勝手な思い込みによる行動は、価値観の押し付けとなったり、「自分がやらなければ！」といった気負い過ぎも、被災者にとっては大きなお世話になる場合もあります。「何をやるべきか」「何を求められているか」をしっかりと理解し、役に立つ活動をしましょう。

「地域住民の力を支援する」

被災者とボランティア復興に向けて「一緒に協力する」関係です。被災者の役割までボランティアが担い、被災者の力を奪ってしまうことのないように気をつけることが重要です。

「プライバシーを守りましょう」

活動中に得た依頼者等の個人情報の保護について十分に配慮してください。無断での写真撮影やSNS等への投稿はしないようにしましょう。